



年度はじめのご挨拶

校長 山口 浩二

柔らかな春風に心華やぐ季節となりました。新庄小学校に令和8年度の春が訪れました。本日の始業式では、子どもたちに「思いやりいっぱい」「学びいっぱい」「元気いっぱい」であってほしいこと、そのために自分にできることを考え、進んで取り組んでいってほしいと伝えました。

私たち教職員は、よりよい自分を目指して様々なことに挑戦していこうとする新庄っ子、仲間と助け合い共に高まり合おうとする新庄っ子を指導し支えてまいります。

1 学校の教育目標

主体的・対話的に暮らしをよりよくしていこうとする子どもの育成

主体的とは、自分から始めるということです。対話的とは、他者との対話だけでなく、あらゆる対象との対話、自己内対話等も含んでいます。暮らしをよりよくするとは、自分をよりよくしようとすると同時に、自分の周りの社会も共によりよくしようとするということです。

2 目指す子どもの姿

「思いやりいっぱい」「学びいっぱい」「元気いっぱい」の子ども

本校が大切にしてきた3つの言葉です。善いと思ったことに進んで取り組むことのできる子ども、自分の学びや体づくりに思いっきりチャレンジする子どもを目指します。

なお、本年度から2年間、本校は富山県小学校教育研究会の「国語科研究推進校」の指定を受けました。つきましては、徳・知・体のバランスのとれた人間形成を心がけながらも、特に子どもの「学び」について、学力向上に向けた取り組みにも力を注いでまいりたいと考えています。

3 本年度大切にしたい5つのこと

- 1 自分もまわりも大切にする
- 2 自由と責任を考えてくらす
- 3 学びのサイクルを意識する
- 4 心をひらき「問い」と向き合う
- 5 健康な体づくりを心がける



昨年度に引き続き、教職員も子どもたちも共に学び合い、よりよい暮らしを実現するための視点を設けました。

特に本年度は、コロナ禍以来、減少傾向にあった児童集会など子どもが主体になって取り組む活動を少しずつ増やしていく予定です。できるだけ子どもたちの「楽しみ」や「やりがい」にあふれた学校を目指して取り組んでまいります。保護者や地域の皆様方には、昨年度に引き続き、本年度も本校へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。